

丹波篠山・福の住む里 福住さとねっと

Fukusumi Sato Net



令和4年9月21日

第 153 号

発行：福住地区まちづくり協議会

〒669-2513 丹波篠山市福住 342

TEL&FAX：079-557-0116

メール：fk.machikyo@gmail.com

中森俊介選手後援会

(千葉ロッテマリーンズ)

会員募集中！

福住からのプロ野球選手「中森俊介選手」の後援会に入会して、一緒に応援しよう！

●後援会入会方法

- ①QR コードから
- ②後援会ホームページから
- ③後援会事務局へ問い合わせ
(070-8590-8737)



=中森俊介選手後援会=
=福住地区まちづくり協議会=

NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」

SHUKUBA 加工所 daidocolab. (だいどころぼ) では、ご好評いただいております製粉機を使った米粉加工を承っております。(1kg から) 希望者の方には真空パックにてお渡ししております。

- 加工賃：1kg あたり 420 円
- 申し込み：ご希望の方は加工所営業時間に電話 (080-9534-4275) まで
- 営業時間：月・水・木・金曜日の9時～17時

「米粉の日」を毎月第4月曜に
定期開催します！

9月は26日(月)、10月は31日(月)開催予定です。



9月5日(月)、兵庫県
の齋藤知事が地域の方々
との意見交換を通じて魅
力を発見する「ワーケーシ
ョン知事室」が、福住で開
催されました。

「古民家リノベーション」や「ジビエ料理活用」
などなど、それぞれテーマ
を持って取り組んでいる
熱い熱い思いの発表が続
きました。

掛氏から地域のみなさん
による販売所としての立
ち上げから現在までの詳
しい説明ののち、知事から
激励の言葉もいただき、帰
りに野菜も買っていただき
ました。

また、福住のまちなみの
散策やカフェでの昼食な
ど、福住を一杯感じていた
だきました！

写真は、旧福住小学校
(SHUKUBA)での意
見交換会のほか、会場から
の福住の街並み、一本杉販
売所での様子です。

一本杉販売所だより

みなさん、こんにちは！
コメ作り農家さんは稲刈りが始まりましたが、連日の雨で倒伏もあり悩まされています。

また台風がやってきそうで、それまでに稲刈りをと悩む日々で大変ですね。
本日の販売所は、丹波篠山産新米コシヒカリが早くも入荷しましたよ！秋の味覚丹波栗も入荷しました。

そのほか、なすび・万願寺とうがらし・ピーマン・シマウリ・マクワ瓜など沢山入っています！
東雲高校からからもユニークな南瓜が入っています。いろいろ入荷が有りすべて紹介できませんので、是非直接お越しください！

農家レストラン福住からは、夏につかされた体にスタミナの付くカツカレー・唐揚げ定食・福住定食など用意しています。

持ち帰り用の手作り弁当も好評です。しっかり食べて頑張ってください。



過疎を逆手に前進しよう！ = 東部6地区活性化シンポジウム報告 =

去る7月23日(土)、ハートピアセンターにおいて「東部6地区活性化シンポジウム」が開催され、約100名の参加を得て盛大に、また、パネラーからも戦略会議としてこの間検討してきた提案がありました。来賓として酒井市長、小島市会議長、小西県会議長、今井丹波県民局長が来られ、今井県民局長からは、「逆都市化の最前線を目指して」人口減少化でも活力のある豊かな社会、ふるさとを残すためにデジタル技術の活用、集落間連携の推進の大切さを話され、6地区の可能性に大いに期待されていました。

第1部の基調講演は、県立大学の三宅康成教授から「地域再生大作戦に見る地域の変化」と題して講演。国土の90%は農村、そこに30%の人が住み、①何を守りたいのか？②何を变えたいのか③何を創造するのかを強調され、県下トップランナーの丹波地域がフロントで時代の変化に対応して欲しいと期待されていました。

第2部のパネルディスカッションでは、5名のパネラーから提案がありました。*敬称略

- ① **マルシェ**：8月22日(土)雲部まち協で開催する。市内外から27店舗の参加がある。6地区でも今後、検討して欲しい。(雲部活性化委員、金崎美和)
- ② **交通・移動**：後川地区の高校生の原付通学要望、コミバスの時間帯見直し、自転車の乗る神姫バス、福住地区の有償運送要望。(村雲活性化座長、今井めぐみ)
- ③ **農業**：将来、大芋地区は人口が450人と予想。農業を目指す若者が入居できる特色ある市営住宅を要望。(大芋活性化委員、江坂道雄)
- ④ **子育て世代**：城東保育園、かやのみ幼稚園の補修及び認定こども園化を要望。(城東活性化会員、出口陽正)
- ⑤ **今後の目標**：地区情報発信の拠点として、Aコープハートピアセンター東館の活用を提案。現在、JAの所有建物であるが、レストランとしての再開、地元農産物の販売、サイクリング等観光の案内を兼ねた施設としてリフォームし、活用していくことを提案。(6地区会長、佐々木幹夫)

今回のシンポジウムを機に、今後、東部6地区活性化委員を中心に、市や県とも連携して、過疎化脱却、過疎を逆手にしたまちづくりを目指して前進してまいりますので、住民のみなさんの叱咤激励やご指導をよろしくお願いいたします。



丹波篠山市大会の原案が内定！

= 全国伝建協総会・研修会福住地区実行委員会 =

来年5月に開催予定の丹波篠山市大会。全国伝建協役員市長と開催市の丹波篠山市長との協議により、このたび大会の原案が内定しました。

開催日程は、令和5年5月22日(月)から5月24日(水)までの3日間、行政プログラムと住民プログラムとの両方で実施されます。第41回秋田県横手市大会まで開催されてきた3日間、住民プログラム復活で開催されることになりました。ただし、かなりの部分で変更があります。主な変更点は、第1日目に行われていた「次期開催地の事例発表」、2日目の「意見交換会」及び「情報交換会」がなくなり、全体会での「事例発表」が組み込まれるなど、プログラムが変更され簡素化されます。

その中で特に住民の参画が必要となるのが、①第1日目夕刻の「情報交換会」②第2日目午前中の「篠山重伝建地区の現地視察」③第3日目午前中の「福住重伝建地区の現地視察」④その他の住民プログラムへの参加などが想定されます。具体的な対応については、今後市実行委員会等で逐次決定していくことになります。

3日間の大会日程で福住地区実行委員会が最も重点的に対応することが必要となるのが、第1日目夕刻の情報交換会における「郷土芸能の披露」、第2日目の「事例発表」、第3日目の「現地視察」になります。特に現地視察は、福住地区のまちなみを全国に発信する絶好の機会であり、総力を挙げて取り組んでまいります。

去る9月20日(火)に開催しました第3回実行委員会では①丹波篠山市大会の原案確認②秋田県横手市大会のDVD映像によるイメージ作り③部会の担当項目の再整理などについて協議。丹波篠山市大会までの残された期間、ピッチをあげて活動しています。

今後、実行委員会の活動において、福住地区のみなさんをはじめ、大会を支えていただきたい関係機関のみなさん、大会の成功を見守っていただく多くの方々には、さらなるご協力をお願いすることがあると存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

「SHUKUBA」オープンデー開催します！ = SHUKUBA 情報 =

日頃はSHUKUBAの活動に対しましてご指導、ご協力をいただき大変感謝を申し上げます。

さて、日頃の「SHUKUBA」テナント入居者の活動を理解していただく意味を兼ねまして「SHUKUBA」オープンデーを下記のとおり開催いたします。黒豆作業等で忙しい中ですが、「SHUKUBA」・旧福住小学校まで、足を運んでいただければ幸いです。

- **と き**：10月22日(土)13時～17時、23日(日)10時～17時
 - **と ころ**：「SHUKUBA」(旧福住小学校)の玄関・校舎内・体育館
 - **内 容**：オープンデー(各テナント、ジオラマ室等見学)、マルシェ(数店のお店)、ピアノ(自分で演奏・有料)
- ※昼食・お茶は、カフェ「ノウム」はじめ数店が出店、お土産・缶詰「福の宝」も販売しています。

もうすぐ、実りの秋！



※集落だよりは、今号(第153号)は掲載を休みます。